

平成30年度 第17回政策推進会議報告

日 時 12月20日 9時36分～11時05分

場 所 4-1会議室

出席者 21人

1 「平成31年度主要事業の調整状況について」に対する市民意見公募手続の実施について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 事業費は調整中であるが、一般財源ベースで約2億円となっている。スクラップとビルドの見合いがどうなっているのか、考え方を説明されたい。

→公表資料の2ページに総事業費は約15億円、うち一般財源ベースで約2億円と記載しているが、この15億円の中には投資的な経費をかなり含んでいる。大まかに言うと、投資を除いたランニングコスト等の経常的な経費では、今調整中のものも含めて一般財源ベースで約2億円、行革的な項目では約3億円となる。この差引の約1億円については、今後の収支改善に回していきたい。

(市長) 今回、書式をスクラップもビルドも一本化した。内部向けにはもう少しお金のところの補足資料を作ってもいいかもしれない。

→今回、新規・拡充要求をするにあたって、各局にはかなりの既存事業をスクラップしながら新しい事業を構築していただいております、それを改革・改善、新規・拡充という形で分けてしまふと説明が難しくなるのかなということなので今回こういう形でまとめさせていただいた。

(市長) ビルド部分の新規事業の中には、来年度単発で終わる事業と後々経常的な経費を支出していくことになる事業とがある。構造改善と構造的費用が見合うからと言ってどんどん支出が膨らむことがないようにかなり査定している。今回は1億円を生み出しているが、相変わらず厳しい状況である。

・所管局からの要求額も公表するという点には驚いた。

→今回の資料の中には査定で実施見送りとしているものもあるが、2月議会に予算案を提出するときにはそのような項目は一切出ていかないので、庁内でもある意味隠れてしまう。しかし、そういう表に出ないようなことも各局からはご提案いただいております、最終的にこういう考え方のもとで見送らせていただくという経過も含めてパブコメに諮ろうという意図でやらせていただいている。

・主要事業に係る構造改善は1億円程度という話だったが、来年度、実質的な収支均衡を図るためには、あとどれくらい収支改善しないといけないのか。

→全体の事業費についてはまだ局長査定の段階であるが、今のところ、いわゆる先行会計除きで7～8億円の収支不足である。今は投資を中心に査定させていただいているのと、扶助費の精査もさせていただかないといけない。また、幼児教育・保育の無償化等の制度改正の影響や、12月下旬に国から示される地方財政対策を見ながら予算案を固めて、来年1月中旬ごろから三役査定に入らせていただく予定である。

(市長) 昨日、市長定例記者会見でこの主要事業について発表した。記者対応については、記

者とも少し意見交換をしたが、このパブコメの時点で目玉となる事業を2つか3つ、「こういう予算計上を予定している」と打ち出していくほうがいいのではないかと思う。と言うのも、2月の予算議会の際は、当然各市が一斉に来年度の予算案を公表してそれが順番に新聞に載っていくので、1市あたりの紙面は限られる。したがって、特別にしっかりと打ち出していきたい事業については、他都市とタイミングをずらして発表していかないと載せてもらえない。例えば、スクールサポートスタッフを全小学校に置きたいと考えているということなど、事前に打ち出していくというチャレンジをしたほうがいいと思っている。議会にも、そういうプロモーションをやっていきたいということを相談したほうがいいかもしれない。「記者には『不確定であり、これから議会で審議していただく』ということをきちんと伝えたいので、いくつかこういうことを打ち出していく」ということで議会に説明して、理解を得たい。

- ・9月の決算議会では各会派の意見表明もあるので、対応するようなどは出せるのかなと思う。

(市長) そういう意見表明されたようなところほど調整中になっているし、やはりこの資料を作っている間にも委員会をやっているのだから、そこが非常に難しい。あと、昨日この資料が記者に渡っているのだから各局に個別の取材が行くかもしれないが、それはそれとして対応してもらおうにしても、やはりこちらからいくつかは戦略的に出していくとけない。これは来年度に向けた反省だが、この時点でパブコメをやっているからできる技でもあるので、条件が整ったものをいくつかここで1回打ち出して、予算の時は予算の時でまた通常の記事を出してもらおうというような形にできればなというふうに思っている。各局そういう心づもりでお願いしたい。

- ・収支見通しについて、収支を均衡させていこうとする中で、確実に行革されているところが景気変動の影響を受けて飲み込まれて整理されてしまうというのが結構あると思う。したがって、もともと立てた目標に対してどう行革のアプローチをしていくのかということもきちんと示したほうがいい。減量型行革を目指していた時代からまた更に違う形で生まれ変わろうとしているところもあって、例えば観光による経済効果などは見える化するのには非常に難しいが、そういうところも意識しながら、収支は税収も伸びて歳出も伸びるけれども、違う要素として市全体では構造改善しているということが見えるようにしたほうがいい。

(市長) 前に監査からも言われたとおり、今は市財政にフォローの風が吹いているが、このフォローの風を私たちの体質改善の成果だと安易に勘違いしてはいけない。とは言え実際に体質改善に繋がっているところも着実にあると思うので、それは極力見える化の努力をしたほうがいいし、チェックをかけたほうがいい。今年度の施策評価から行政運営に係る評価も追加した。そのうちのひとつが財政パートになっているので、あそこで行革についての進捗を計ってページに載せていく。また、今回この主要事業の公表資料の書式を新規・拡充と改革・改善とに分けずに一本化したけど、これからはもっとたくさんの事業に予算査定が入っていくにあたって、全体集計は今どういう状況なのかという途中経過について、内部では資料を共有したほうがいいのかと思う。

- ・単なる歳出削減というだけでなく、構造改善的に市としてどういうことを行っていくのか、例えばPPP・PFIにしても、ただ単に施設を改善するのではなく、そういう民間手法も取り入れながらやっているというようなことを出していくのがいいと思う。

2 「平成31年度当初予算原案に係る公営企業局主要事業（水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業）の調整状況について」に対する市民意見公募手続の実施について

公営企業管理者から資料に基づき報告。

3 「(仮称)児童福祉法に基づく指定通所支援の事業の人員、設備及び運営の基準等を定める条例（骨子素案）」に対する市民意見公募手続の結果について

健康福祉局長から資料に基づき報告。

4 その他

- 危機管理安全局長から、尼崎市コミュニティサイクル実証実験について説明。
- ひと咲きまち咲き担当局長から、尼崎城桜植樹寄附について説明。
- 消防局長から、平成31年尼崎市消防出初式について説明。
- 教育長から、文部科学副大臣による市内教育関連施設の視察について報告。

以 上